



# 学校だより

最終号ジャカルタ日本人学校  
令和4年(2022年)3月1日  
校長 緒方克行  
TEL: 021-745-4130

末子配付

## 子どもたちに拍手を！

「アッ！校長先生だ！！」オンライン授業の様子を見に校内を回った時のことです。子どもたちが画面の向こう側から、笑顔で手を振ってくれました。

「オンライン授業だけど、元気に学習していますか？」と話す。

「元気ですよ！」「僕もしっかり授業やっています。」など、口々に返ってきました。

一学期頃のオンライン授業では、どこことなくよそよそしかった子どもたちの表情が、だいぶ違ってきていることに気付きました。担任は、休み時間などは教室にいる時のように友達同士接していると、話していました。

今年度の始まりに、年間テーマを「つながる」＜友達とつながる 学びとつながる＞とする事を子どもたちと保護者の皆様にお伝えしました。今年度の対面授業は通算5か月間ほどでしたが、子どもたちは友達としっかりつながることができたようです。

例えば JJS フェスティバルやふれあいフェスティバルでは、全校で一度も集合していないにもかかわらず、スローガンにあったように、心と心でつながる笑顔が咲き誇っていました。

さらに、外部講師の方々から話をいただきながら進めたキャリア教育や、日本や他の日本人学校とつながり、それぞれの文化を紹介したり、意見交換したりしました。これはオンライン授業ならではの人のつながりとも言え、子どもたちの視野は大きく広がりました。

「学びとつながる」という点でも成果が見られました。子どもたちは ICT 活用能力をしっかりと身に着けました。低学年であっても、プレゼンテーションソフトを活用して意見を発表したり、掲示板に自分の考えを貼りだして議論したりしていました。これは、機器を交流のための道具としてだけでなく、表現や思考のためのツールとして活用できるようになったということです。これは、日本の学校より何歩も先に進んでいると言えます。

また、各教科の学習内容につきましても、習得のために子どもたちは努力していました。ご家庭のサポートも大きかったことと思っています。

このように、厳しい学習環境下でも子どもたちは、もっている力を精一杯発揮して多くの学習活動に取り組んできました。心から拍手を送りたいと思います。

最後になりますが、保護者の皆様には、コロナウイルス感染防止のために急な変更に対しまして、柔軟にご対応していただいたことをはじめ、ジャカルタ日本人学校の教育活動に対し、ご理解とご協力いただけたことに心より感謝申し上げます。

ありがとうございました。

## お知らせ欄

- 国分未里教諭について、2月の学校だよりで帰任とお知らせいたしましたが、事情により任期を延長することになりましたのでお知らせいたします。
- 2月28日以降の予定について、きつずノート（2月24日）をご確認ください。
- 令和4年度の入学式、着任式・始業式に関しては、現在のところ対面登校にて実施の予定です。  
※今後の状況により変更になる場合がございます。

### 着任式・始業式(4月12日)について

※6：50から新学級編成表を各アトリウムに掲示します。

新学級を確認して、新しい教室に入ってください。

7：55～ 8：10 着任式  
8：10～ 8：35 始業式  
8：50～10：45 学級活動等  
11：05 バス発車

○スクールバスの確認をしますので、お子様にバスの番号を書いたメモを持たせていただくなど、確実なバス乗車にご協力ください。

○昼食（弁当）は必要ありません。

### 入学式(4月13日)について

(小) 7：15 ～ 7：40 受付	(中) 7：30 ～ 7：45 受付
7：45 ～ 8：30 入学式	7：45 ～ 9：00 学級活動
8：30 ～ 8：45 写真撮影	9：00 ～ 9：45 入学式
8：45 ～ 9：30 学級活動	9：45 ～ 10：00 写真撮影
9：30 下校	10：00 下校

## 令和3年度末 任期を終える教職員からのメッセージ

**24名の教職員が異動いたします。この場をお借りしてメッセージを紹介いたします。  
たいへんお世話になりました！**



### <上田 大樹>

3年間、本当にありがとうございました。素直で元気な子供たちと、温かい保護者の皆様に支えられて、充実したインドネシア生活となりました。特に最後の2年間は、関わった全ての人に助けられ、支えられてきたなと心から感じています。この3年間で一生大切にしたい、これからはがんばっていきたいと思います。JJSに通う子供たちみんなが力強く進んでいくこと、JJSがもっとすばらしい学校になることを心から願っています。

### <仲程 幹>

2年間という短い間でしたが、本当にありがとうございました。このような貴重な経験をすることができたのは、JJS職員の皆さんをはじめ、子どもたちや保護者の皆様の支えがあったからです。ここインドネシアでの生活、そしてJJSでの生活は、これからは忘れることはないと思うくらい、Bagusな2年間でした。Sampai jumpa lagi.

### <野宮 久未佳>

JJSの長い歴史を感じた2019年。ジャカルタへ来て初めて体調を崩したときにクラスの保護者の方が「これがジャカルタの洗礼だよ。でも、帰るころにはジャカルタが大好きになるよ。」と声を掛けてくださったことを思い出しました。異国の土地では、素敵な出会いと別れがたくさんありました。3年という短い時間でしたが、インドネシアという国が、インドネシアで出会った人々が、JJSが、そして、JJSの子どもたちが大好きになりました。本当にありがとうございました。

### <清水 綾華>

子どもたちとグラウンドを駆け回った1年目、オンラインで試行錯誤した2年目、少人数で笑いあった3年目と激動の3年間でした。どの年も、素直で明るく優しい子どもたちと保護者の皆様に支えていただきました。本当にありがとうございました。皆様のこれからは希望と喜びに満ち溢れたものになりますように、心より願っております。

### <沼崎 有海>

3年間、様々なことがありました。その日々を乗り越えていくことができたのは、JJSの子どもたち、保護者の皆様のおかげです。3年間の毎日に素敵な思い出がたくさん詰まっています。一緒に音楽ができて幸せでした！3年間、本当にありがとうございました。

### <北岡 良仁>

JJSのみなさんのもっている力にいつも感心させられた日々でした！  
①友達の良いところを見つける力！ ②出会いを楽しむ力！ ③大人では思いつけないような発想力！  
みなさんのもっている力にハッと気付かされる幸せな毎日でした。本当にありがとう！  
どこにいても心は一緒！ず〜っと応援しています！スマンガットやで〜！！

#### <高木 紳郎>

SD3 の子供たちを持ち上がりで担当させて頂きました。そのため、SD3 の子供たちと深く関わることができました。理科では、保護者の方々に動・植物の飼育栽培のサポートを頂きとても助かりました。そのおかげで学級園では、植物栽培を順調に取り組めることができ子供たちに効果的な実物観察を提供することができました。また、チョウの幼虫の確保・飼育にも成功し子供たちと一緒に観察することもできました。子供たちが JJS の学級園で実際にチョウの幼虫を見ることができていることを知り、目を輝かせていた場面がとても印象深く心に残っています。

#### <土井 亮>

3年間お世話になりました。とても素敵な3年間を過ごすことができました。JJSに通う子どもたち、保護者の皆さん、本当にお世話になりました。たくさんの人たちに支えられて過ごした3年間、きっと忘れることはありません。人生、一期一会。すべての出会いにトゥリマカシー。

#### <澤西 勇樹>

JJS の子どもたちの一生懸命がんばる姿、やり遂げたときの明るい笑顔に感動した3年間でした。また、それを支えてくださった保護者の皆様、本当にありがとうございました。毎日の授業、体育祭、Jフェス、教室で笑いあったこと、全ての思い出が一生の宝物です！またいつかどこかで会える日を楽しみにしています！

#### <豊田 葵>

私にとって中学生の時に JJS で過ごした思い出は、一生の思い出になっているので、みなさんにとっても JJS で過ごした時間がすてきな思い出になれば良いと思います。大好きだった JJS に、再び先生として来ることができて、みなさんとたくさん時間を過ごすことができ、改めて JJS が好きになりました。これからもすてきな JJS をみなさんでつくりあげてください。3年間、本当にありがとうございました。

#### <阿部 勇登>

たくさんの人に支えられて走り抜けることができた3年間でした。想像することもできなかったこの3年間を一緒に乗り越えてきた子どもたち、保護者の皆様、同僚には感謝しかありません。自分が皆さんのために何ができたかは分かりませんが、少しでもお力になれていたのだとしたら嬉しいです。本当にお世話になりました。

#### <大北 沙織>

3年間、ジャカルタ日本人学校で皆さんと過ごした時間は、かけがえのない宝物です。みなさんの音楽室で響いた歌声やリコーダーや打楽器の音色を聴いて、「私は、みなさんと音楽するためにジャカルタに来たんだ・・・」と何度も、幸せを感じていました。対面が始まり、音楽室でみんなと再会できた時の嬉しさも忘れません。みなさんと音楽ができる時間が大好きでした。本当にありがとうございました。

#### <鈴木 一史>

3年間、保護者の皆様には大変お世話になりました。この3年間で、インドネシアのみならず世界を取り巻く環境が大きく変わり、子どもたちの学習の様子や生活様式も短期間での急激な変更を余儀なくされました。令和元年度のJJSの活気のあるマンモス校の様子から令和2年度のオンラインでの少人数数学級、そして、今年度のハイブリット型授業。ジャカルタにいる子どもたちのためにと努めて参りましたが、力足らずなことを痛感させられる毎日でした。そうした中で、支えとなったのは、子どもたちと保護者の皆様の温かいお声がけでした。本当にありがとうございました。

#### <林 和未>

短い間でしたが、JJSの子どもたちの優しさや一生懸命頑張るたくましさのおかげで、幸せな2年間を過ごさせていただきました。オンライン授業になっても理科や図工の授業をすることができたのは、保護者の皆様の暖かいご協力のおかげです。インドネシアでみなさんからいただいたたくさんの優しさを胸に、異なる土地にいてもいつまでもJJSの皆さんの幸せを願っています。本当にありがとうございました。

#### <駕屋 妙子>

3年前、新しい環境への不安と期待に胸を膨らませてJJSにやってきました。今は感謝の気持ちでいっぱいです。そして、ジャカルタで暮らしたこと、JJSで働いた経験は、これから日本にもどって様々なチャレンジをしていく時に『きっとなんとかなる。だってJJSでなんとかなったじゃないか。』と私を支えてくれると思います。ありがとうJJS。ありがとうジャカルタ。ありがとうインドネシアです。皆さんどうか体に気をつけて。日本からJJSの皆さんの活躍をお祈りしています。

#### <小笹 隼人>

3年間大変お世話になりました。素直で積極的な子どもたちと過ごした3年間はとても幸せでした。小学部では子どもたちと一緒に虫メガネで光を集めて、紙を焦がしたのが思い出です。2年目、3年目は中学部でした。国語を通して、生徒のみなさんの読みの深さや、堂々とした発表にとっても驚かされました。とても勉強になった3年間になりました。ありがとうございました。

#### <竹越 功祐>

私がJJSに在任した期間は、コロナに始まり、コロナに終わる2年間でした。素晴らしいと話に聞いていた数々の行事も、ほとんど実施されることもなく、オンラインに明けくれた毎日でしたが、そんな中でも常に成長し続ける子どもたちの明るく逞しい姿を目の当たりにして、どんな状況でもプラスに考えて前進するJJSの素晴らしさをいろいろな場面で教えてもらいました。日本へ帰ったら、自分なりの方法で学んだことを還元したいと思います。JJSでの出会いは、永遠です。ありがとうございました。そして、これからもよろしくお願いします。

#### <竹中 政明>

アツという間の3年間でした。日本人学校は2回目ですがJJSというマンモス校で、体育館での着任挨拶。1000人の児童生徒の輝く瞳を今でも鮮烈に覚えています。失敗してもクラスの生徒から「先生 tidak apa apa」だよと、励まされ、50周年記念体育祭・Jフェス・合唱コンクール・マレーシア修学旅行。怒濤の中で終えた1年目。2年目。3年目は世界的パンデミックの中、これまで経験したことのない授業の取り組み。偏に生徒の皆さん、教職員の仲間たち、保護者の方の支えがあって今日まで走り続けることができました。本当にありがとうございました。JJSに幸多かれと！

<尾針 このみ>

3年間、児童生徒のみなさんの明るさと笑顔に支えられ、そして保護者の皆様に助けて頂き、何とか仕事をする事ができました。心から感謝しております。1年目は創立50周年という特別な年、2年目はコロナ感染の広がりによるオンライン授業、そして3年目はハイブリット行事に挑戦した年と、JJSでの3年間は忘れられないものとなりました。とてもすてきな学校で3年間過ごすことができたことを幸せに思います。皆さん、本当にお世話になり、ありがとうございました。

<加藤 裕章>

昨年末に、管理職を含め多くの同期が帰る中、責任感から学校へ残りました。JJSで過ごした4年間、素晴らしい子どもたちと、温かな保護者の皆様に囲まれて過ごすことができましたこと感謝申し上げます。様々な理由から不安な気持ちで登校する児童生徒も多く、毎朝名前を言いながら挨拶を行い、成長を見守ってきました。歴史のあるJJSの一員となれたことを宝物として帰ります。ありがとうございます。

<岡田 愛美>

短い間ではありましたが、本当にありがとうございました。児童生徒のみなさんの笑顔や、様々な制限がある中でも一生懸命に取り組む姿に、たくさんの元気と勇気をもらいました。また、先の読めない状況の中でも、保護者の方々にご理解・ご協力をいただき、大変感謝しております。JJSに関わる皆様が、これからも健やかでありますよう、お祈り申し上げます。

<Kotcher>

Many thanks and best wishes to all at JJS! I have enjoyed working with my colleagues and students during my two years here, and may the future be bright for all of us.

<Paul>

Thank you to all at JJS for an interesting and enjoyable eighteen months. It has been a difficult time due to the pandemic, but we have all adapted as best as we can to the situation especially the children who have been fantastic throughout this time. I will particularly remember the children that I have taught for their good behaviour, enthusiasm and sense of fun and I hope they continue to flourish despite whatever challenges they may have to overcome. Good luck to all at JJS for the future.

<Said>

Thank you JJS for the wonderful five years of memories. I would like to thank all the teachers at JJS for their kindness and for making me a better teacher today. I shall not forget the students at JJS who did their best in the class every day with a big smile.